

研究課題

「CGMの有用性の検討ならびに薬剤師業務への展開」

1. 研究の意義と目的

CGM (Continuous Glucose Monitoring、持続血糖測定) は、従来の SMBG (Self-monitoring of Blood Glucose、血糖自己測定) における測定時点の血糖変動のみならず、連続的に血糖値の日内変動を詳細に確認できるメリットを有します。しかしながら、CGM の実施には、糖尿病を専門とする医師が複数在職していること等の施設基準があるため、全ての医療施設で実施可能であるということではありません。

本研究は、当院 CGM 実施患者における CGM の有用性を検討し、CGM を用いた糖尿病管理における、薬剤師の効果的な関わり方を提示することを目的としています。

2. 研究の方法

① 対象期間

2014年4月1日～2016年10月31日における当院でのCGM実施患者全例を対象とします。

② 研究方法

1. CGM 実施者の血糖値の変動を収集・解析し、薬剤種別に低血糖発現状況を調査する。
2. 薬剤毎特性による低血糖発現時期等についての情報提供のあり方を検討する。

研究対象者となる方の診療録より抽出した情報を使用させていただきます。個人情報削除した上で匿名化し、個人情報が漏出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 情報の保護・廃棄

本研究に使用する情報は東北医科薬科大学 若林病院薬剤部内で厳重に取り扱います。なお、調査結果は個人を特定できない形で論文等にて発表させていただきます。また、研究終了後は、診療録以外の情報は速やかにシュレッダーで裁断し廃棄します。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

本研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒984-8560

仙台市若林区大和町2-29-1

TEL: 022-236-5931

東北医科薬科大学 若林病院 薬剤部